

下関国際新聞

中学1・2・3年生

下関市総合政策部
国際課

Tel:083(231)9653

Email:sskokusa@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

中学生米国派遣研修団8名が元気に帰関

8月3日、市内中学生派遣団員8名が姉妹都市である米国ピッツバーグ市（カリフォルニア州）に出発。5泊のホームステイを終え8月9日に帰関しました。

下関から世界へ、グローバルな人材育成に向けて！

平成12年度から始まった中学生米国派遣研修は、今年で17年目となり、下関市ではグローバルな人材育成に向け、8名の中学生を国際親善大使に任命し、姉妹都市のピッツバーグ市へ派遣しました。

本年度の派遣団は、ホームステイをしながら市議会、警察署、州議事堂、総領事館等の視察、地元高校生との交流等を通して、本場の英語や異文化を肌で体験しました。

●事前研修

6月下旬から始まった事前研修では、ホームステイにおける注意事項の確認や、前年度研修に参加した団員との意見交換、現地で披露する歌やダンスの練習等を行いました。また、日本の中学校生活についてプレゼンテーションを行うため、パワーポイントの作成や発表原稿の翻訳に熱心に取り組みました。

●助成金の贈呈

より多くの中学生に米国派遣の機会を与えたいという目的で、国際ソロプチミスト東下関の皆さまから今年も団員一人当たり5万円を助成していただき、市



長表敬式の後に贈呈式が行われました。

●ピッツバーグへ出発

早朝七時、新下関駅での出発式を終え、家族や先生方に見送られ新幹線で福岡空港へ。今年には仁川空港経由（約三時間の滞在！）ということも、思いがけず韓国文化にも触れる機会を得ました。

日付変更線を越えて約十一時間でサンフランシスコ空港に到着。半数の団員にとって初めての海外旅行、緊張した面持ちで入国審査に挑み、無事米国の地を踏み出しました。



最初の訪問先である在サンフランシスコ日本総領事館は、米国にある日本在外公館の中で最も歴史が古く一八七〇年に開設されました。山田総領事との対面、記念撮影の後、職員の方から在外公館の主な仕事について、そしてカリフォルニア州で苦労を重ねながら頑張ってきた日系人の歴史等について講義を受けました。

その後、大渋滞に悩まされ

ピッツバーグ市

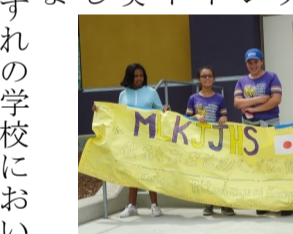
- ・人口：6万3千人
- ・面積：4.0㎢
- ・姉妹都市締結：1998年12月18日
- ・アメリカ西海岸サンフランシスコの東約60km

●学校訪問・交流



この日は、ピッツバーグ市内にある三つの学校を訪問しました。夏休み中での通常の授業は行われていませんでしたが、サマースクール（補講）の様子などを見学しました。どの学校も、充実した設備と、美しく整備された開放感のある校地の様子が印象的でした。

生徒数が二千五百人を越えるピッツバーグ高校では、学生自らが指揮を執りスタジアムで総勢二百五十名の大マーチングバンドによるドリル演奏を披露してくれました。



いずれの学校においても、団員達は積極的にコミュニケーションを図り、地元の学生達とあつという間に打ち解け、別れ際まで写真を撮りあつていました。

●日米の中学校生活を紹介します。

事前研修で最も力を入れて取り組んだのが、英語でのプレゼンテーションの準備です。「School Life in Japan」と題し、日本の中学校生活の様子や下関とピッツバーグの関わりな



●ホームステイ

団員達は、ピッツバーグ滞在中は全てホームステイでした。今年には四家庭の引き受けがあり、それぞれ二人ずつの滞在という恵まれた環境でした。二日目の夜、少しかだけホームシックになった団員もいたようですが、みなホストファミリーと楽しい時間を過ごす中で、英語の上達はもちろん、アメリカの生活習慣や文化を体験することができました。

●UCバークレー校視察

三日目は、高速鉄道BARTに乗り、名門カリフォルニア大学バークレー校の視察へ向かいました。今回私たちがアテンドしてくれたエイブ君は、半年前にUCバークレーを卒業したばかり。自然あふれる広大な校内を案内してくれました。

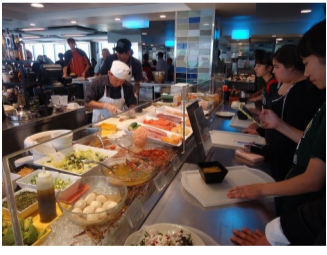


●サンフランシスコ視察

四日目は、ホストファミリーと一緒にバスでサンフランシスコへ。八月末に下関を訪れることになっていました。ピッツバーグの四人の中学生（ジュリアン・ナヴィ・ビクトリア・ケイトリン）も同行し、交流を深めました。



まず訪れたのは、体験型科学博物館「エクスプラトリア」です。広い館内にはあらゆるジャンルの展示物があり、見て触れて学習できるすばらしい施設でした。館内レストランで食べた久しぶりの和食（お寿司やお味噌汁）の味も、思い出の一つです。



●お別れフルパーティー

最後の夜、ケイトリンの自宅でお別れパーティーが開かれました。広い裏庭にあるテラスやプールでみんな大はしゃぎ。ピザやスナックでお腹を満たした後は、団員達の出し物の時間を過ごしました。プールサイドで息の合った可愛らしい「恋ダンス」を披露するとアンコールの声が上がり、大いに盛り上がりました。そして持参した習字道具を使い、紙に平仮名や漢字で名前を書いて、ホストファミリーにプレゼントしました。特に漢字は好評で、名前にあてた漢字の意味を一生懸命英語で説明しようとして、悪戦苦闘していました。



●さよならピッツバーグ

朝八時、ピッツバーグ駅に集合。涙をこらえて見送りのホストファミリーに感謝の気持ちを伝え、お別れのハグを交わしました。スーツケースにたくさんのお土産と思い出の出を詰め込み、サンフランシスコ空港に向け、BARTに乗り込みました。



★次はあなたもチャレンジ！

下関市中学生米国派遣研修は夏休みの期間を利用し、英語の上達はもちろん、海外の文化を肌で学ぶことができます。充実した研修です。

